

健康法の問題 (15)

矢野 三郎

肥満は健康の敵、太り過ぎは万病のもと、体重のコントロールが健康法の基本的課題であることには異論はない。昭和二十年代、まだ食糧難が続いていた時代では、「栄養を摂りなさい。卵を食べなさい、牛乳を飲みなさい」と、患者さんたちが励まされてきたが、今の時代、もはや、このような忠告を必要とする患者さんはおられない。

もっぱら、「食事量を減らさない、体重をキープして減らさない」と、すすめている。一般の方々で、何とかしてやせたいと思っている人が多い。食べながらやせる方法、というふうな、虫のよい本が売られたりする時代である。たしかに肥え過ぎの人も、やせ過ぎの人も長生きできない。とくに肥え過ぎの人は、動脈硬化、高血圧、心臓病、糖尿病などの成人病にかりやうすい。ただ、ここで問題なのは肥え過ぎ、やせ過ぎの基準はどこにおくかということである。市民の健康教育がかなりゆき届いた結果、標準体重とは何かということを知っている人も多くなっている。

はつきりしない標準体重 肥え過ぎ、不自然な療法は危険

標準体重、平均体重、そして理想体重、一般の方々にとっては何を基準にして自分自身の体重が肥えすぎか、やせ過ぎかを判断したら良いのだろうか。健康法の問題が大きく騒がれている中で、このような基本的な問題もまだ解決していないのである。

標準体重、平均体重、そして理想体重、一般の方々にとっては何を基準にして自分自身の体重が肥えすぎか、やせ過ぎかを判断したら良いのだろうか。健康法の問題が大きく騒がれている中で、このような基本的な問題もまだ解決していないのである。



富山医科薬科大学・教授



こだま

私が警察に在職中、西能病院のことで知っていたのは、県下で初めて救急車を購入(38年9月)されたこと、富山大橋の橋脚沈下で国道八号線が不通(44年7月)になり、地鉄ビルに診療所を開設されたことなどでした。事件処理のことで一度だけ伺ったことがあります。院長とは、源田後援会で数回お会いしました。その印象は、短期間の海軍生活なのに、海軍の良さを十分に噛みしめておられる方だと思いました。五省会ニュースでも海軍魂を堅持されていることがわかります。崇高な

暖まる心の交流

私が警察に在職中、西能病院のことで知っていたのは、県下で初めて救急車を購入(38年9月)されたこと、富山大橋の橋脚沈下で国道八号線が不通(44年7月)になり、地鉄ビルに診療所を開設されたことなどでした。事件処理のことで一度だけ伺ったことがあります。院長とは、源田後援会で数回お会いしました。その印象は、短期間の海軍生活なのに、海軍の良さを十分に噛みしめておられる方だと思いました。五省会ニュースでも海軍魂を堅持されていることがわかります。崇高な

オバケ屋敷だった 懐しい星井町時代

私は、西能病院に入院中、二十年前の院長先生の出逢いが懐かしい思い出です。院長先生は、お話しが面白くて、かき分け、かきわけて、やつの思い、一週間後に、五福(現在地)の明るい病室に移されたときはホッとしました。おかげで、十月一日にオリビックの聖火をす

わたしはこう思う

抱いてもらったことなんて恐ろしいと思えます。ところが、近頃はパパートさんが行きますとお母さんがハンドバッグをもってさっそうと歩き、そのあとにお父さんが子供を抱いてくついでに、どうしてこんなことになったのか、おかしなことです。

お母さんが子供を叱るときは、お父さんがたいていになります。かつてのおやじの権威はたんでしまっているように思えます。



西能病院 理事 西能 正一郎

女権社会は大丈夫? 父権失墜、教育も混乱

「それから、これは私の持論で、幼児教育、とくに三、四歳ごろの躾が非常に大切だと思えます。そして家庭では、大事な方向を決めるときは必ずおやじができて、しっかりとスジを通します。おやじは戦時中、父に

手でみる 心でみる



ご縁がありまして西能病院看護部を担当して一年八ヶ月が過ぎようとしております。今年三月まで当院の看護部の基礎を築かれた古

心の通い合う科学的、家庭的看護を

公的病院で過ごした二十余年、私の病棟勤務二年生としての当面の目標は、六月から予定されている許可付増床をむけての看護要員の確保です。その役割も、私の看護観を育てて下さった富山県立中央病院、県立

西能病院のあゆみ

らって感激した話が多かったです。星井町も五福も患者さん一杯だったわけですね。

院長、それと聞かれます。私には聞きません。三十八年の豪雪の最中に運転免許をとったのです。それも落ちて落ちて、三ヶ月も四ヶ月もかかったと思っていました。それで、嬉しく

おかず無しの昼食? 院長、顔色で体調がわかった

院長、九時ごろ、ゆうゆうと出勤してこられました。それで、午前中に百二十人ぐらいの外來患者を診察されたのがしよ中でした。そのうち、点数を記入されたのが大変でした。私たちが、横で点数を書くのを教えてくれました。

院長、九時ごろ、ゆうゆうと出勤してこられました。それで、午前中に百二十人ぐらいの外來患者を診察されたのがしよ中でした。そのうち、点数を記入されたのが大変でした。私たちが、横で点数を書くのを教えてくれました。

わたしはこう思う

わたしはこう思う

おやじは心の寄り所 厳格さの奥に大きな愛

おやじは心の寄り所 厳格さの奥に大きな愛

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

美しいものが 見えてきた

〈第十四信〉
松下英勝

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

心の優しさ感じられる人に
「車イスの私に贈られたお年玉」を読んで、思わず涙ぐんでしまいました。車イスから投げ出された人を助け上げるのは当たり前前に行かぬかと思えます。それをお年玉のように喜んでおられる。なんと心の優しい人だなあ、それにしても、寒々とした人たちが多いからかもしれなないなあなんて思ったり

自分は、神戸新聞の発言欄に「車イスの私に贈られたお年玉」を投書してから、思いがけない人たちが、身近な人たちから励ましの便りを沢山貰い、その整理をしていきます。私の投書を読まれ、神戸新聞に投稿された方のものを照れながらも嬉しく読みました。それをお送りいたします。(別項に二つ)
この記事を読んで、一

何げなく出る態度に、ふと人柄がわかったりする時があります。例えば細い道で向こうから人が来るのがわかった場合、私はいが道を譲るよううにしています。そのお合、本当にホッとする思いで笑みを返します。思いやりの態度は、決して頭からは出てきません。松下様のように優しい

番最初に感じたのは母親のことでした。自分の母親は、今日まで、自分のことで、さんさんさまに頭を下げ、施設に呼びつけられ、小言(ごこと)をいわれ、ずい分、肩身の狭い思いをしてみました。からだ元気がなすなら勝気な母ゆえ問題ないのですが、最近、からだを悪

い人ほど人の優しさを敏感に感ずる事ができるのかもわかりません。ふだんの人のお付き合いを大切に心掛けたらいいと思います。いつでも声を掛けて下さい
松下英勝さん、おかげがなくて本当によかったですね。あなたの「車イスの私に贈られたお年玉」を読んで、私も自分の事のようにうれしく思い

くし、長女の嫁家で養生中です。今の自分に何が孝行かとも考え、真面目に施設で生活するのが母への孝行と...。多くを語らず、実行と、作業に励み、頑張っています。不肖の息子が、新聞に「松下は優しい人です」と載ったことを母が知れば、きっと涙するに違いないと思います。自分はバカ

でも、自分が母に面と向かって、人並みに親孝行の言葉をかければ、恐らく十も二十も老けこむことでしょう。この投書も、母には自分の口からは伝えていません。とにかく変わった母と

でも、自分が母に面と向かって、人並みに親孝行の言葉をかければ、恐らく十も二十も老けこむことでしょう。この投書も、母には自分の口からは伝えていません。とにかく変わった母と

別れてしまいました。後になって、もう少しおつき合ひして買物のお手伝いをしてあげればよかったのではなかったでしょうかと気がなっています。松下さんをはじめ車イスに乗っておられる皆さん、困った時、必要なのはいつでも声を掛けて下さい。私はあなたたちとお友達になりたいと思っています。

この記事は、からだの弱った母への良い贈物になったと思います。神戸新聞に投稿して下さった見知らぬ人たちに恥じないよう、自分なりに母孝行して、今後も頑張ります。(姫路市打越一〇〇、重度身体障害者授産施設、愛光園)



富山県五福末広町 島清松さん(六七)

訓練に励む島さん
清松さんに生まれかわっている。
島さんが突然、意識不明になったのは昨年四月二十八日の早朝。十年も

続けていたジョギングのあと、体操してから寝床に入ったまま起きあがれなかつた。すぐ近くの西能病院に運びこまれ、同病の救急車で富山市民病院へ。
くも膜下出血と診断された。ゼットたい安静、四日後に手術をした。意識

が回復するのに三ヶ月もかかった。
そのご、徐々に回復したが、両肩、両肘、両手指、両膝関節拘縮の後遺症が残った。手足の自由がきかなくなつたのである。
九月から市民病院で機

能訓練をはじめた。十一月に入ってから杖で歩けるようになった。さらに、リハビリ訓練をつづけるため、十一月二十五日、西能病院に入院した。退院が十二月三十日。このときは一人歩きができるようになっていた。
退院後も、午前(九時

十二時)と午後(二時~五時)の二回、三時間づつ、みっちり訓練に励んだ。
その成果があらわれた。五月からは訓練を午後だけにして、午前中は大沢野町の安村工業(四十五年四月から勤務)に、車

を運転してからだ馴らしに顔をだしている。「楽しみは日曜や祭日に二人の孫と遊んだり、それに、友人と碁を打ったり...」
いまの希望は、一日も早く社会復帰したい一念です。
病院のみならずから親切にしてください。喜んでおります。ま

社会復帰の一念で

医療法人 西能病院の診療体制

内科を充実、内科病棟を新設(4月1日から)

●年中無休・24時間受付の診療体制を敷いております。●救急車(2台)は、要請により出動致します。

一般受付時間(日曜・祭日は休診)

診療科目	午前	午後
整形外科	月~土 8:30~12:00	月~土 16:00~19:00
リハビリテーション科	月~土 8:30~12:00	月~土 13:30~19:00
内科	月~土 8:30~12:00	月~土 病棟回診
形成外科	毎月1回 8:30~12:00	(診察日は受付でおたずねください。)

医療コンサルタント(毎週土曜14:00~16:00)

医療相談日を設けています。(院長、又は副院長が相談にあたります)整形外科の病気はもちろん、関連ある色々な病気について治療・予防のためのアドバイスを致します。又ご希望があれば専門の医師への紹介も致します。お気軽にご利用下さい。事前に、受付に時間予約をして下さい。(TELでも可=0764-41-2481代)

メディカル・ソーシャルケースワーク(毎日8:00~17:00)

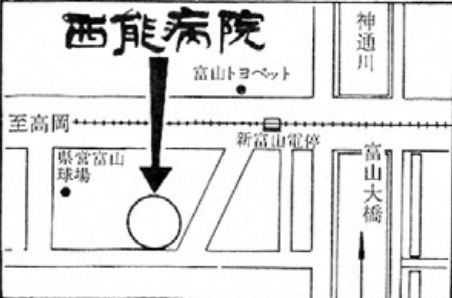
医療費や入院などにかかわる経済問題・退院後の生活設計など、病気以外の心配事や悩みに専門のケースワーカーが親身になってご相談に応じます。(秘密厳守)ご遠慮なく、受付や看護婦に申し出て下さい。

栄養指導(毎週水・土)

現代病といわれている肥満・糖尿病・その他の病気にたいして、専門の栄養士が具体的な食生活を指導致します。受付にお申込下さい。

重病患者さんの送迎について

重症のため、一般の車で搬送できない患者さんには、入退院にあたって、病院の患者専用車をご利用いただけます。受付に申し出下さい。



《交通機関》市内電車.....新富山電停下車・徒歩2分
 地鉄バス.....新富山停留所下車・徒歩2分
 通院バス(順路).....西能病院→富山大橋→丸の内→新富町→富山駅→桜橋通り→西町→旅籠町→丸の内→富山大橋→西能病院
 (富山駅は通院バス常時停留所、その他臨時停車します。)